

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年12月25日

事業所名：放課後等デイサービスえーる

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3	1	0	プレイルーム・静養室・個室に分室している。	23	2	0	1	
	2 職員の適切な配置	3	0	1	人員を確保し、勤務体制表を掲示している。	22	2	1	1	バタバタしている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	2	1	1	・玄関の段差に対応するため踏み台を設置した。 ・用途に応じて室内を使い分けている。	19	3	3	1	・構造上段差の解消は難しいが危険箇所のクッション素材での保護及び点検を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	3	1	0	洗面所にて各児童のタオルを配置し毎日洗濯している(インフルエンザ等対策)また、各主要部位の消毒を毎日行っている。	21	4	0	1	朝夕の掃除と消毒を引き続き行う。また、定期的に設備点検を怠らないようにする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	3	1	0	PDCA会議を定期的に行っている。	/	/	/	/	PDCA会議を2～3ヶ月に一度のペースで行い、より各職員の自覚の向上を図る。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	4	0	0	毎週2回程度の会議または室内研修でスキルアップを行っている。	/	/	/	/	引き続き行うとともに対外的な研修も参加していく。又その内容を各職員と共有する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	4	0	0	アセスメント表やモニタリングや支援会議でのことや保護者の方のニーズ等をもとに支援計画を作成している。	25	1	0	0	アセスメントを行い、相談支援事業所保護者の方とのモニタリング内や会議において、課題や保護者ニーズを把握確認し支援計画案・書作成している。又中間評価も定期的に行い支援計画に反映させている。また具体的支援内容の記載においては事業所の工夫した点(左欄)に記入。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	4	0	0	長期目標・短期目標生活面・社会面・身体面に分けて具体的に支援計画を立て、総合的支援や身体拘束や独自のクラブ活動特化プログラムを盛り込んでいる。	26	0	0	0	
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4	0	0	個別活動の個室SSTや特化プログラム、集団活動の遊戯療育(クラブ活動や課題遊び)を取り入れ計画の作成をしている。	/	/	/	/	引き続き個別活動(個室SSTや特化プログラム)、集団活動での遊戯療育(クラブ活動や課題遊び)を取り入れ計画に記載していくことで子どもの具体的目標を明確にしていく

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供 (続き)	4	3	1	0	活動プログラム中に、現状・ねらい(短期のスパンで)を盛り込み支援を振り返れるようにしている。	24	2	0	0	・課題に対してどれだけ日々対応してくださっているのかわからない。	・連絡ノートで様子を伝えているが、保護者の方への伝え方をわかりやすくして、くまた、自由参観の日を設ける。・引き続き担当者が振り返りながら活動プログラムを作成する。
	5	4	0	0	利用児童の様子や課題等をケースノートや日誌で共有し、活動プログラムの立案に役立っている。	/	/	/	/	/	引き続き課題の整理を行って行く。また活動プログラムのねらいや捉えは定期的に朝礼等で確認していく。
	6	4	0	0	毎日のクラブ活動・課題遊びを計画し変えている。(目的別)	22	4	0	0	支援員に課題や希望の情報の共有がされているのか分からない。	固定化されないように引き続きクラブ活動や課題遊びをテーマを考案計画的に準備していく。また、引き続き朝礼などで職員間の情報の共有確認をしていく。
	7	4	0	0	休日長期休暇におけるスケジュールは半年計画で担当者を決め計画的に準備している。(支援含め)	/	/	/	/	/	休日や長期休暇に合わせたスケジュール等を視覚化してよりきめ細やかな支援に繋げる。
	8	3	1	0	毎日朝礼にて確認を行っている。また、昨日のケース記録等の話も行い確認徹底している。	/	/	/	/	/	朝礼ではその日の確認を行い、支援開始前後はその都度の声かけをし連携をはかる。
	9	3	0	1	日誌とは別にケース記録を記入し、振り返りが出来るようにしている。	/	/	/	/	/	パートアルバイトは出勤時にケースノートや日誌を確認し、内容を把握し朝礼などで情報の共有化を徹底する。
	10	4	0	0	日誌や個別記録に毎日記入し、必要に応じてケース記録やヒヤリハット記録をし事業所全体で確認対策を話し合っている。	/	/	/	/	/	引き続き正確な記録必要に応じてケース記録やヒヤリハットの記録を確認し、状況に応じた支援の検討を行っていく。
11	4	0	0	定期的に中間評価表を作成し、それに基づき話し合い計画を見直している。	/	/	/	/	/	引き続き徹底していく。	
関係機関	1	4	0	0	児童発達管理責任者や児童の担当者がサービス担当者会議や学校での支援会議や状況に応じた懇談会に参画することで共通認識を行っている。	/	/	/	/	/	引き続き行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
との連携	2											
	3											
関係機関との連携 (続き)	4	3	0	1	・日々学校のお迎え時必ずその日の様子を確認して共有している。・支援会議に参加している。・その他、毎年支援学校ちよの会議を行い利用児童の支援内容の情報共有や共通理解を図っている。						支援内容の共通理解や共有をはかるため必要に応じて会議を増やせるよう検討していく。	
	5	3	1		相談支援事業所を通して支援内容を伝える。						引き続き相談支援事業所との引継ぎをしていく。	
	6	2	1	1	支援会議にて連携をとっている。また、センター主催の研修に参加させて頂いている。今年度は職員資格取得の受講も行った。						引き続き専門機関との連携や研修の受講を促進していく。また、市の連絡協議会の参加を継続していく。	
	7	3	1	0	児童せんたーや公園はのお出かけ等で関わる機会がある。また、地域でのイベントの参加もしている。	6	5	4	11			休日や長期休暇において引き続き地域との交流の機会を作っていく。
	8	2	1	1	・畑で作業をさせてもらう等地域の方と過ごす機会がある。 ・出前講座や国領祭に参加をしたり、ボランティアとの関わりを持つ機会がある。							引き続き地域の方と過ごす機会を設け、活動の理解を得られるようにしていく。
	保護者への説明責任	1	4	0	0	契約時に保護者の方と面談し、相談支援事業者間でのサービス計画案等に基づきアセスメントや支援内容を具体的に決め、重要事項説明時には利用者負担等についてもしっかりと事例を出し説明している。	25	1	0	0		
	2	3	1	0	支援計画案で確認し支援計画書を作成していく。また、保護者と対面し内容の説明をしている。	26	0	0	0			引き続き計画案・書を説明して確認を怠らないようにしていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	1	0	保護者お茶会を2ヶ月に1回行っている。その中で勉強会を開催している。ペアレント・トレーニングは次回行う予定。	16	5	2	3	引き続きお茶会でのペアレント・トレーニングの支援を心がけ、えーる機関誌の中でコーナーを設けていく。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	3	1	0	連絡ノートにて状況や遊び等の様子を伝え、必要に応じて電話や口頭にて伝えている。（年に1回懇談会を開いている）	22	4	0	0	引き続き同様に対応していく。保護者の方に合わせた連絡方を考えて行く。又、支援会議は日時により参加出来ないこともあり、相談していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3	1	0	モニタリングや会議を通しての相談や連絡ノートでの対応やお迎え時などでの助言を行っている。	24	2	0	0	・面談を年2回ぐらいしてほしい。 ・小さな事も相談するといつもきちんとして頂き安心できます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	4	0	0	2ヶ月に一度保護者お茶会を設け講演会やえーるでのおやつクラブ、趣味的な催しを企画し保護者間の交流を促している。	20	0	0	6	引き続き行っていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	2	2	0	苦情ボックスを玄関に設けている。	21	0	0	5	職員保護者の方を両方苦情を受け付ける体制（苦情ボックス等）を周知してもらう。苦情だけでなく、相談もしやすいように相談機会を多く作って行く。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	3	1	0	毎日連絡ノートにて様子を伝えている。又、電話でのやりとりもしている。えーるだよりの機関誌を毎月発行している。	22	1	0	3	子どもの状況に合わせ視覚支援を増やす等の支援を行っていく。（環境整備）
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報について子どもや保護者への発信	4	0	0	毎月のえーるたよりの機関誌やFaseBook等で情報を伝える。また、状況に応じてお知らせ等の文書を作成し保護者に伝えている。	22	1	0	3	引き続き行っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	4	0	0	職員においては入社時個人情報取り扱い二関しての誓約書を、保護者の方とは個人情報に関する同意書及び契約書にて説明し同意印を頂いている。その他、職員については定期的に研修を行っている。	23	0	0	3	引き続きしっかりとした取り扱いを行っていく。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	4	0	0	目につくところに設置している。マニュアルを使い定期的に研修を行っている。	20	1	0	5	えーるたより等にて各マニュアルの設置場所や内容について定期的にお知らせしていく。



区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標				
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見		
子どもの 対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4	0	0	毎月1回(25日)いろんな災害を想定しての避難訓練を行っている。また、職員研修にて話し合いをもっている。シェイクアウトえひめにも参加している。	24	0	0	2		引き続き行って行く。	
非常時等 の対応 (続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	4	0	0	週2回程度の研修において定期的に行い、事業所外の研修にも参加している。	/	/	/	/	/	/	事業所外での研修を増やして行く。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	0	0	放課後等デイサービス支援計画書において記載し、活動プログラムまたは記録に記載している。	/	/	/	/	/	/	引き続き徹底していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	/	/	/	アセスメント時に確認事項に記載している。	/	/	/	/	/	/	引き続き確認していく。場合により医師の診断書で詳しく確認対応する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	3	1	0	事例集を作成し、事業所(2カ所)を合わせて対策を話し合っている。	/	/	/	/	/	/	引き続き事例集を作成し徹底していく。